■欧州：欧州委員会、エネルギー貧困への対応で新たな取り組み

欧州委員会は 2018 年 1 月 29 日、「エネルギー貧困オブザバトリー（EPOV）」と呼ばれるプロジェクトに関する新たな取り組みを開始した。EPOV は、欧州全体で高まりつつあるエネルギー貧困の問題について、その現状や有効な対策等に関する情報を関係者間で共有し、課題解決に資するためのプラットフォームであり、同日付で専用のウェブサイトが立ち上げられた。欧州委員会によれば現在、EU 全体でおよそ 5,000 万世帯が、冷暖房をはじめとして、生活に不可欠な財としてのエネルギー・サービスを十分に受けることができない、エネルギー貧困世帯に相当するとされている。こうしたエネルギー貧困は、高額なエネルギー支出、非効率なエネルギー消費機器、断熱性の低い住居、低所得など、複数の要因に起因するものであり、専門家によるネットワーク構築の重要性は、これまでになく増していると説明されている。